



第73回 瀧廉太郎記念

全日本高等学校声楽コンクール 実施要項



〈文部科学大臣奨励賞〉 ・ 〈 瀧 廉 太 郎 賞 〉

ウィーン留学助成

1位 60万円

2位 40万円

継承と創造おおいた2019・第21回大分県民芸術文化祭参加行事

2019(令和元年) 10.18～10.20 竹田市総合文化ホール グランツたけた



「竹田」ゆかりの音楽家瀧廉太郎の
名を刻み、優れた音響特性を持つ〈廉太郎ホール〉



竹田市総合文化ホール
グランツたけた
(平成30年10月開館)

わずか23歳10か月でこの世を去る間に、数々の名曲を残した若き天才作曲家『瀧廉太郎』が、多感な少年時代を過ごし、音楽への道を歩み始めるきっかけになった竹田の街は芸術の香り高い音楽の街。そして名曲「荒城の月」のモチーフとなった「岡城跡」は、戦国の栄華の名残と荒城の姿を今も留めています。

「瀧廉太郎記念音楽祭」は、瀧廉太郎を顕彰し昭和22年(1947年)に創設されました。その後、毎年開催されていますが、音楽祭のメインとなる全日本高等学校声楽コンクールでは、これまで数多くの音楽家が世界へと翔いています。

私たちの目は九州の小さな街から世界に向けられています。そして世界の目が、この街と皆さんに向けられるコンクールをめざして、皆さんとともに夢の実現のために歩んで行きたいと思います。

昨年オープンした竹田市総合文化ホール グランツたけたの大ホール「廉太郎ホール」を舞台に、本コンクールの新たな歴史が刻まれていきます。

出場規定

出場資格 日本国内の高等学校に在籍する生徒とする。

出場申込 ①各都道府県で出場選考会（コンクール等）が開催されている場合、各都道府県教育委員会、同高等学校文化連盟、同高校音楽教育研究会が主催する都道府県単独の選考会（コンクール等）を経て、推薦された生徒とする。
出場申し込み期限は、令和元年9月17日(火) 必着。
 ②各都道府県で出場選考会（コンクール等）が開催されていない場合、在籍する学校の校長推薦を受けた生徒とする。ただし申し込み時に課題曲・自由曲の2曲を録音したCD（テープMD可）を申込書に添付して提出し、主催者による選考会（コンクール等）を経て合格した生徒とする。また、一つの都道府県に2校以上の学校推薦による申し込みがあった場合も主催者による選考会を行い、合格した1校の生徒の参加とする。
出場申し込み期限は、令和元年7月31日(水) 必着。

出場人数 各都道府県1名とする。ただし、北海道、東京都、大分県は2名とする。竹田市および竹田市と音楽姉妹都市の宮城県仙台市、長野県中野市は別に、市長推薦（竹田市は学校長推薦）された1名の参加を認める。

選曲等 ①予選・本選ともに自由曲・課題曲各1曲とし、課題曲は瀧廉太郎作曲「荒磯」「荒城の月」「納涼」及び山田耕筰編曲の「秋の月」から1曲とする。ただし「荒城の月」は山田耕筰編曲で、1番から4番までの歌詞のうち、希望する歌詞を二番選択する。
 ②課題曲・自由曲の順で歌うこととする。
 ③課題曲・自由曲ともに、予選と本選の曲は同一曲とする。
 ④移調を認める。（ただし、オペラ・アリアは原調とする）
 ⑤自由曲・課題曲合わせて10分以内とする。
 ⑥伴奏者は高校生に限定しない。
 ⑦出場申込み後に曲目の変更は認めない。

審査員 伊原直子（東京藝術大学名誉教授）
 二神二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
 斉藤言子（神戸女学院大学教授）
 佐々木典子（東京藝術大学教授）
 甲斐栄次郎（東京藝術大学准教授）

表彰 1位／文部科学大臣賞をはじめ、主催、後援者の賞状・楯を贈る。瀧廉太郎賞としてウィーン短期留学助成金（60万円）を贈る。留学有効期間は表彰式より1年以内とする。また留学しない場合は支給しない。
 2位／主催、後援者の賞状・楯を贈る。瀧廉太郎賞としてウィーン短期留学助成金（40万円）を贈る。留学有効期間は表彰式より1年以内とする。また留学しない場合は支給しない。
 3位／主催、後援者の賞状・楯を贈る。瀧廉太郎賞として10万円相当の図書カードを贈る。
 優秀賞／主催、後援者の賞状・楯を贈る。
 優良賞／主催、後援者の賞状・楯を贈る。
 出場者・伴奏者全員に記念メダルを贈る。（伴奏者は高校生にのみ贈る）

申込先 出場申込書（別紙1）を、下記へ郵送のこと。
 〒878-0024 大分県竹田市大字玉来1番地1 竹田市総合文化ホール グランツたけた
 瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール事務局
 ☎0974-63-4837 FAX 0974-63-2211 ✉glanz@city.taketa.lg.jp
 ※ホームページからも申込書をダウンロードすることができます。
<http://www.city.taketa.lg.jp/takiconcours/>

交通費 ①交通費は「出場者交通費補助規定」により補助をする。（表1）
 ②航空機利用者は、数か月前から航空券の販売が開始されますので、早割チケットの購入をお勧めします。

宿泊 ①宿泊費は、独唱者・伴奏者各1名の2泊（夕・朝食込み）までを主催者で負担する。
 ②宿泊場所（ホテル）は主催者が準備・指定する。
 ③希望次第で、宿泊場所に「農家民泊」を選択することができる（農家民泊とは、竹田市内の農家の家に宿泊することです。独唱者、引率者の相部屋等の制限があります。ただし、宿泊が必ずしも「農家民泊」となるわけではありません。）

その他 出場者の練習会場は主催者で準備する。

〔出場者交通費補助規定〕

該当者は独唱者・伴奏者・引率者で1校3名までとする。

（表1）

都道府県名	助成額	都道府県名	助成額
北海道 岩手県 秋田県 福島県	1名2万円	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 長野県 愛知県	1名1万円
青森県 宮城県 山形県		栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 長野県 愛知県	

日程（予定）

会場：竹田市総合文化ホール グランツたけた

10/18 (金)	10/19 (土)	10/20 (日)
12:00 … 出場校受付開始 (出場校練習)	12:50 … 審査員紹介	10:50 … 審査員紹介
17:30 … 予選抽選会	13:00 … コンクール (予選)	11:00 … コンクール (本選)
18:30 … 開会式 歓迎レセプション	18:00 … 予選審査発表 本選抽選会	12:30 … ウィーン留学報告 演奏会
		13:30 … 本選審査発表 表彰式 (閉会式)
		15:00 … 終了予定

※日程については多少変更することがありますので、予めご了承ください。

大分県竹田市へのご案内

空路

- 東京＝大分：85分
- 名古屋＝大分：65分
- 大阪＝大分：55分
- 東京＝熊本：90分
- 名古屋＝熊本：70分
- 大阪＝熊本：60分

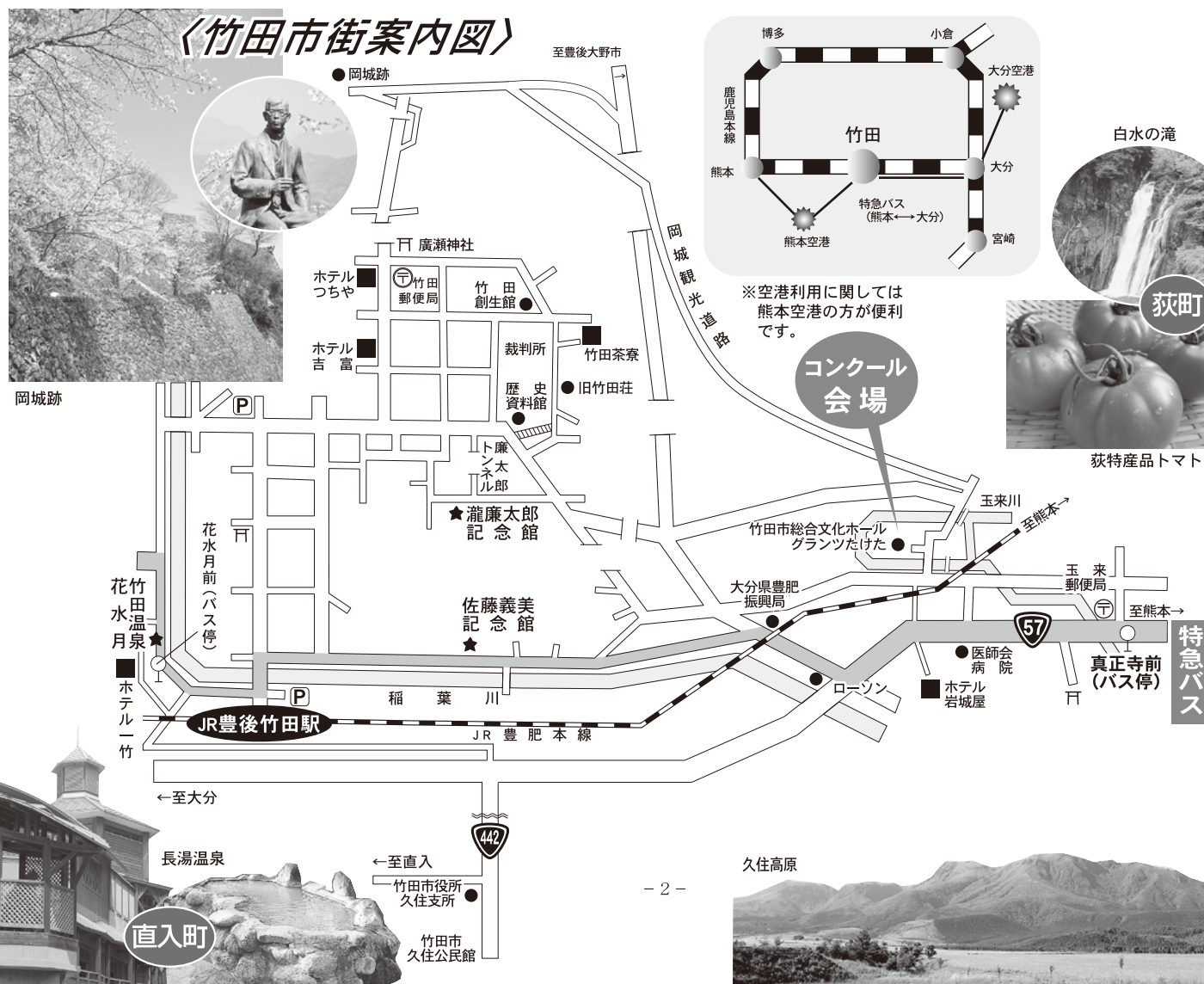
陸路
JR

- 小 倉 = 大 分 : 80分
●大 分 = 竹 田 : 60分
●熊 本 = 竹 田 : 120分

※豊肥本線「肥後大津」―「阿蘇」間は災害により運転が見合わせとなっておりますので、乗り換えが必要です。

陸路
バス

- 大分＝大分空港：55分
- 大分＝竹田：70分
- 熊本空港＝竹田：120分



歴 史

歴代最優秀賞受賞者（昭和28年度以降）

開催年	県名	出身高等学校	氏名
昭和28年	大分県	緑丘高等学校	中野 洋子
昭和29年	福岡県	福岡中央高等学校	藤井 原
昭和30年	熊本県	人吉高等学校	中山 都
昭和31年	熊本県	人吉高等学校	村山 灯子
昭和32年	愛媛県	宇和高等学校	永見富久好
昭和33年	佐賀県	白石高等学校	宮原 昭吾
昭和34年	鳥取県	倉吉西高等学校	里美 昭子
昭和35年	熊本県	第一高等学校	村尾 寿子
昭和36年	愛媛県	丹原高等学校	尾上 洋子
昭和37年	熊本県	水俣高等学校	野田 幸則
昭和38年	鳥根県	平田高等学校	山中千薙子
昭和39年	大分県	緑丘高等学校	森 靖博
昭和40年	大分県	佐伯鶴城高等学校	松下 千鶴
昭和41年	大分県	緑丘高等学校	片山 和子
昭和42年	大分県	緑丘高等学校	秋月 二美
昭和43年	鳥根県	出雲高等学校	天野真由美
昭和44年	鳥根県	出雲高等学校	岸 恵子
昭和45年	山口県	宇部中央高等学校	桑原 英子
昭和46年	鳥根県	大社高等学校	大国 和子
昭和47年	熊本県	九州女学院高等学校	測田 恭代
昭和48年	宮崎県	都城泉ヶ丘高等学校	柳橋さとみ
昭和49年	宮崎県	宮崎女子高等学校	嶽道 優子
昭和50年	長崎県	活水高等学校	安藤かしづ
昭和51年	熊本県	第一高等学校	久保扶佐子
昭和52年	熊本県	水俣高等学校	西森 由美
昭和53年	宮崎県	延岡高等学校	今村 雅彦
昭和54年	宮崎県	宮崎女子高等学校	湯浅 直美
昭和55年	山口県	宇部女子高等学校	中村 里美
昭和56年	兵庫県	松陰女子学院高等学校	吉野 桂子
昭和57年	大分県	緑丘高等学校	竹本 宏子
昭和58年	兵庫県	神戸山手女子高等学校	木山みずほ
昭和59年	愛媛県	松山南高等学校	藤岡 葉子
昭和60年	大分県	緑丘高等学校	米沢 みこ

開催年	県名	出身高等学校	氏名
昭和61年	兵庫県	赤穂高等学校	金谷美知子
昭和62年	鳥根県	出雲高等学校	園山はるみ
昭和63年	熊本県	第一高等学校	井上 素子
平成元年	鳥根県	大社高等学校	山崎 一幸
平成2年	鳥取県	由良育英高等学校	伊藤 京子
平成3年	兵庫県	神戸山手女子高等学校	飯山 友子
平成4年	鹿児島県	松陽高等学校	測田 嗣代
平成5年	岡山県	山陽女子高等学校	浅野多恵子
平成6年	高知県	高知高等学校	国沢さおり
平成7年	大分県	大分舞鶴高等学校	藤井 雄介
平成8年	兵庫県	西宮高等学校	足立 志穂
平成9年	奈良県	高門高等学校	榊 貴志
平成10年	熊本県	水俣高等学校	福島 有梨
平成11年	長崎県	長崎西高等学校	吉川 友理
平成12年	宮崎県	宮崎女子高等学校	間瀬田紗代
平成13年	大分県	大分高等学校	後藤 真美
平成14年	佐賀県	佐賀西高等学校	立川 清子
平成15年	京都府	京都市立音楽高等学校	朝来 泰生
平成16年	鹿児島県	松陽高等学校	竹下 裕美
平成17年	神奈川県	小田原高等学校	加藤のぞみ
平成18年	大分県	芸術緑丘高等学校	紀野 洋孝
平成19年	熊本県	ルーテル学院高等学校	中川恵美里
平成20年	大阪府	夕陽丘高等学校	松原みなみ
平成21年	高知県	高知丸の内高等学校	野町 知弘
平成22年	鹿児島県	甲南高等学校	大平 倍大
平成23年	鳥取県	松柏学院倉吉北高等学校	椿 翔太
平成24年	鹿児島県	松陽高等学校	山田 晃也
平成25年	熊本県	必由館高等学校	野田 桜子
平成26年	岡山県	倉敷青陵高等学校	岡 友一
平成27年	長崎県	活水高等学校	塩谷 梨奈
平成28年	香川県	坂出高等学校	西谷 亮良
平成29年	大分県	大分東明高等学校	石本 高雅

バリトン歌手・故立川清登さんや、日本を代表するカウンターテナーの米良美一さん、平成10年チャイコフスキー国際コンクールで第1位となった佐藤美枝子さんもコンクールの入賞者です。

平成30年度入賞者

- 第1位 占部 李佳（福岡雙葉高等学校）
 第2位 島田 佳音（坂出高等学校）
 第3位 海上 玲菜（北海道中標津高等学校）

歴 史

瀧廉太郎記念音楽祭（コンクール）略歴

- ◎第1回 聖瀧廉太郎記念音楽祭《創設》
 - ・前日祭 昭和22年6月28日
 - ・記念音楽祭 昭和22年6月29日（於：竹田岡城跡）
- ◎第2回 聖瀧廉太郎記念音楽祭
 - 昭和23年10月17日（於：竹田岡城跡）
 - ・大分県学生音楽コンクール
 - ・大分県青年団音楽コンクール
- ◎第3回 聖瀧廉太郎記念音楽祭
 - 昭和24年10月2日（於：竹田岡城跡）
 - ・九州各県高等学校声楽コンクール
- ◎第6回 瀧廉太郎記念音楽祭
 - 昭和27年10月12日（於：竹田岡城跡）
 - ・西部日本高等学校独唱コンクール
- ◎第46回 瀧廉太郎記念音楽祭
 - 平成4年10月25日（於：竹田文化会館）
 - ・第1回全日本高等学校声楽コンクール

審 査 員（第46回以降）

- | | | | |
|--------------------------|---|------|--|
| 第46回 | 木村 宏子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長） | 第59回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
・三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授） |
| 第47回 | 木村 宏子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授） | 第60回 | 田原祥一郎（武庫川女子大学音楽学部学部長）
伊原 直子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
渡部 千枝（名古屋音楽大学音楽学部声楽学科講師） |
| （三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授） | | 第61回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授）
田原祥一郎（武庫川女子大学音楽学部学部長）
川上 茂（東京藝術大学音楽学部声楽科准教授）
渡部 千枝（名古屋音楽大学音楽学部声楽学科講師） |
| 第49回 | 安永武一郎（大分県立芸術文化短期大学学長）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授）
応和 恵子（大分大学助教授） | 第62回 | 栗林 義信（東京音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授・桐朋学園大学音楽学部特任教授）
田原祥一郎（武庫川女子大学音楽学部学部長）
伊原 直子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
渡部 千枝（名古屋音楽大学音楽学部声楽学科講師） |
| 第50回 | 曾我 栄子（国立音楽大学教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
安永武一郎（大分県立芸術文化短期大学学長）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授）
応和 恵子（大分大学助教授） | 第63回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授）
（蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授） |
| 第51回 | 三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
安永武一郎（大分県立芸術文化短期大学学長）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第66回 | 渡部 千枝（金城学院大学講師） |
| 第52回 | 高橋 大海（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第67回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
渡部 千枝（金城学院大学講師）
中村 健（尚美学園大学大学院客員教授） |
| 第53回 | 中村 浩子（東京藝術大学音楽学部声楽科名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第68回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
渡部 千枝（金城学院大学講師）
佐々木典子（東京藝術大学教授） |
| 第54回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授） | 第69回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
・二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授） |
| （三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授） | | 第70回 | 斉藤 言子（神戸女学院大学教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
甲斐栄次郎（東京藝術大学准教授） |
| 第57回 | 田原祥一郎（大阪音楽大学教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第71回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
勝部 太（東京藝術大学名誉教授） |
| 第58回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
田原祥一郎（大阪音楽大学教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
伊原 直子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授） | 第72回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
甲斐栄次郎（東京藝術大学准教授） |

第73回 瀧廉太郎記念

全日本高等学校声楽コンクール出場申込書

都道府県名：

写 真

(3 × 4 cm)

1. 独唱者

氏名	(ふりがな)	学 年	性 別
自 宅 の 住 所			電話番号・FAX
〒 -			TEL () -
			FAX () -
メールアドレス		携 帯 電 話 番 号	
学校名	(ふりがな)	※正式な学校名を記入	
学 校 所 在 地			電話番号・FAX
〒 -			TEL () -
			FAX () -

2. 伴奏者

氏名	(ふりがな)	学 校 名 ・ 所 属	学 年	性 別
自 宅 の 住 所			電 話 番 号	
〒 -			() -	

3. 引率者

氏名	(ふりがな)	学 校 名 ・ 所 属 また は 職 業	性 別
自 宅 の 住 所		電話番号・携帯電話番号	
〒 -		TEL () -	
		携 帯 () -	

4. 連絡先 (窓口)

氏名	(ふりがな)	学 校 名 ・ 所 属 また は 職 業	性 別
連 絡 先 住 所		電話番号・FAX	
〒 -		TEL () -	
		FAX () -	

- ◆ この出場申込時に提出いただいた情報は、本コンクールの運営以外には使用いたしません。
- ◆ 竹田市の広報等に使用のため、大会期日中に記録映像等を収録します。あらかじめご了承ください。

5. 曲名等（自由曲については日本語訳を必ずつけること）

	歌 曲 名	作 曲 者
課題曲 (予選)	(「荒城の月」の場合は、1 番から 4 番のうち、どの二番か記載すること)	瀧 廉 太 郎
自由曲 (本選)	(原 語)	(原 語)
	(日本語)	(日本語)
合計演奏時間（課題曲の演奏が開始してから自由曲終了まで）		分

6. 開催地（竹田市）着発の日時、行動予定等

月 日(曜日)	利用する交通機関や着発の時間を具体的に記入してください。
10月 日()	
10月 日()	
10月 日()	
10月 日()	

7. 宿 泊

月 日(曜日)	宿 泊 人 数				農家民泊
10月 日()	男性 ()	名	・	女性 ()	合計 名
10月 日()	男性 ()	名	・	女性 ()	合計 名
10月 日()	男性 ()	名	・	女性 ()	合計 名
10月 日()	男性 ()	名	・	女性 ()	合計 名

() は独唱者との続柄を記入すること。

8. その他（学校推薦で申し込みをする方のみ記入のこと）

(1) 賞歴・研修歴等を記入してください。（別紙添付可）

(2) 自己PRを記入してください。（別紙添付可）

◆ 課題曲・自由曲の2曲を録音したCD（テープMD可）を必ず併せて提出してください。